

# ダルニーフォーラム

第三十号

2019年5月

[www.edfthai.org/jp](http://www.edfthai.org/jp)

## 2019年度奨学金締切直前、今年度ご支援の最後のお願いです。

いよいよ2019年5月16日よりタイの学生の皆さんは新学期を迎えることとなります。さて、その2019年度の奨学金についてのご報告ですが、多くの企業と個人の皆さんのご支援により、現在(2019年4月20日時点)奨学金を必要とする生徒数10,046名に対し、6,153人の子供たちに奨学金を提供できることが決定しました。暖かいご支援に厚く御礼申し上げます。しかしながら、2019年5月31日の締め切りを前に、まだ3,893人の子どもたちが皆様のご支援を待っています。この場を借りまして、新学期が始まる前のこの時点から、奨学金の最終募集をお願いしております。個人として、企業としてご協力いただけますよう、下記、ご案内とお願いを申し上げます。

### 個人の方々

- 既存支援者の場合、今年度も引き続きご寄付いただくこと。
- 職場の同僚やお知り合いに「ダルニー奨学金」をご紹介いただくこと。

### 企業の皆様

タイ国内各企業による社会的活動(CSR)には、大きく分類致しますと、下記5種類の活動成功例があります。多くの企業が大変魅力的な活動を進めておられ、それらの活動により、企業様ご自身も社会的にも大きな評価を受けておられます。夫々の形態でのCSR活動につきましては、過去成功例から下記の通りその概略をご紹介します。

1. 各社の業種・製品等を反映させる独自性を持ったCSRプログラムを中~長期計画に基づき推進。  
※例えば、奨学金供与、自社製品供与、学校側との交流、講習会、イベント等。  
※毎年定期的に、現地教育委員会や学校訪問、贈呈式開催による活動PR。
2. 業績目標達成状況に応じたCSR予算額の計上。  
※経営計画作成時にCSR予算目標も設定。計画達成状況に応じて寄付。
3. 自社商品販売に一定率のCSR予算の組み込み。  
※自社商品の販売額に対し一定率の寄付額設定。  
※恒久的、又は、一定期間キャンペーン他。
4. 店頭募金箱設置と募金促進キャンペーン。  
※一定額募金のお客様への割引クーポン券の提供等。
5. 社内CSR活動。  
※社内への募金箱設置、社員によるボランティア活動の実施他。

奨学金を心待ちにしている子供たちの為に、引き続き一層のご協力をお願い申し上げます。

# こんな子どもたちが皆様からの「ご支援」を待っています。

EDFは毎年タイの東北部イサーン地方の学校から寄せられた奨学金申請者を選抜して調査します。2019年度は、現在のところ10,046人の学生が奨学金審査に合格するであろうと見込んでいます。この10,046の学生全員が奨学金を得て中学校での勉強の機会を得られるよう皆様方の暖かいご支援をお願い申し上げます。

今回は奨学金を申請してきました子供たちの中から、3人の子どものお話を紹介させていただきます。



## スカンヤー(コウキ) 小学6年生、スリン県

家族は両親、母方の祖父母、兄、甥、私の7人家族です。祖父母は高齢と持病のため体が丈夫でなく、十分に働くことができません。家族は交差点の赤信号待ちの車に「マライ」という花輪を販売していますが、日々の生活費しか稼ぐことができず、休日には交差点での販売の手伝いもしますが、いつもではありません。両親が安全を心配しているのと、学業に集中させたいからです。両親が生活費のために互助会から借金があると、祖父母の医療費が必要だから、日々の生活は大変厳しく節約しています。

## キティサック

### 小学6年生、ナコンラーチャシーマー県

両親は離婚して、現在僕は母方の祖母と二人だけの暮らしです。祖母は高齢のため、たくさん働くことができません。僕は祖母の家事等の仕事をできるだけ手伝っています。家族は土地を所有してないので、地主さんから賃借しています。昼休みと放課後は健康のために友達と運動するのが好きです。帰宅後は家事をして、それが終わったら宿題をします。僕の夢は警察官になることです。犯罪者を捕まえ、国のために働き、人々のためになるからです。警察官になるためには少なくとも中学校を卒業する必要があります。家族は裕福ではありませんが、僕は頑張っています。



## チャニチャー

### 小学6年生、ナコンパノム県

弟妹がいる長女です。家族は貧しく、毎週末は牛の世話をし1日100バーツを受け取ります。父親は私が生後1ヶ月の時に他界しました。家族は我慢の暮らしをしており、食べる米がない日もあります。母親は田んぼと畑を耕し、野菜を毎朝販売しています。よく売れた日は10バーツを持って学校に行き、5バーツは貯金箱に貯金します。大学へ進学したいですが、家が貧しいので小学校を卒業するだけで満足しなければいけませんが、でも何とかして中学校には行きたいです。将来は中国語の先生になりたいです。外国語を習得して外国人と交流したいからです。私は勤勉で真面目な子になると共に、ご支援者様からの深い思いやりと心の優しさを絶対に忘れません。

2019年度進学の子どもたちへの募金は、2019年5月31日まで行っていますので、皆様ご自身及びご友人にもご紹介いただき、5月末日までのご寄付のご検討を何卒よろしくお願い申し上げます。

恵まれない子どもたちに、教育を通して、夢を待つことの出来る機会を与え、将来、この子供達が、タイの社会を支える良い大人になっていくために、皆様には、これからも引き続きご支援・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

The Education for Development Foundation (EDF)

50, Kasetsart University Alumni Bldg., Phaholyothin Rd., Ladyao Jatujak, Bangkok 10900

Tel. 0-2579-9209-11 (タイ語) 0-2942-8538 (日本語) Fax. 0-2940-5266

Email: public@edfthai.org URL: www.edfthai.org/jp

公益財団法人 民際センター (EDF-JAPAN)

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-6-13 山三ビル7F

TEL: 03-6457-5782 FAX: 03-6457-5783

Email: info@minsai.org URL: www.minsai.org